

調達組織の在り方とその活性化セミナー

～ 調達組織を活性化し、経営に貢献する ～

開催日時	2025年10月10日(金)	東京会場	各回とも 10:00～17:00
	2025年12月3日(水)	名古屋会場	
	2026年2月10日(火)	東京会場	
対象	<ul style="list-style-type: none"> 調達部門の部課長の方 調達部門の組織的なレベルアップを担う管理職の方 		
講師	藤田 敏氏 調達科学研 代表	参加料(税込)	法人会員：57,200円/1名 会員外：69,300円/1名
<small>※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。) ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。 https://www.jma.or.jp/membership/ ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。</small>			

本セミナーのねらい

米中対立の先鋭化や米国の相互関税政策によって、これまでのグローバル経済は大きな転機を迎えています。調達部門においては重点施策の見直しや、サプライチェーンの再構築が迫られています。こうした中、調達部門の重要性は新たな局面を迎え、経営層からの期待はさらに高まっています。開発購買に代表される上流での活動強化のために、技術者が調達部門に異動するケースも見られますが、その力を十分に発揮してもらうためにも調達組織の再設計と構成員のモチベーション向上や利益創出力強化が喫緊の課題です。

本セミナーでは、社内外のステークホルダーとの連携を通じ、経営の一翼を担う調達部門へと変貌するための道筋を明らかにします。

■ プログラム		10:00～17:00	[昼食] 12:00～13:00
0	パラダイムシフトへの気づき		
	<ul style="list-style-type: none"> AI・ロボティクス時代の到来 Project Aristotle 効果的なチームとは? ジョブ型とメンバーシップ型 		
1	経営に貢献する調達組織とは		
	<ul style="list-style-type: none"> 株主資本主義からステークホルダー資本主義へ 事業の根幹を担っている気概を示す 言い訳から始めるな 利益創出における調達の伝統的思考からの脱皮 		
2	調達部門の組織の位置付け		
	<ul style="list-style-type: none"> 日本は職の専門化が進んでいない 調達の深化 調達組織の考え方 本社部門の心得 		
3	調達組織体制の整備		
	<ul style="list-style-type: none"> 企業組織の変遷 マネジメントとリーダーシップの違い 自社に合った調達組織の枠組みとは? 調達部門の責任の明確化と権限の確立 サプライヤーとの協力関係強化 		
4	調達部門の業務の明確化		
	<ul style="list-style-type: none"> 影響力行使と拡大する業務 コストマネジメント2つの視点 調達競争力強化の方向性 購買業績評価の思想的発展 		
5	一目置かれる調達部門になるには		
	<ul style="list-style-type: none"> 調達コストは売り上げを上げるための投資 原価低減は決して難しい マーケティングに無関心では調達は務まらない 		
6	事業計画立案・実行・PDCA		
	<ul style="list-style-type: none"> スローガンからマニフェストへ 戦略とはやめることを決めること 運行指標と先行指標(結果目標と行動目標) 		
7	調達組織の活性化		
	<ul style="list-style-type: none"> 質問力が組織を変える スキルの前にモチベーション 若手社員とベテラン社員の関わり合い モチベーションを下げている要因を排除する これからの調達部門の道 		
8	Q&A		
	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の具体的な課題に関するアドバイス等 		

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。